

地域学校協働本部

〔令和6年4月 滋賀県教育委員会〕

【補助率】

国	1/3
都道府県	1/3
市町村	1/3

「支援」から「連携・協働」へ

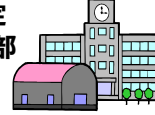
幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生する活動を実施

趣旨

地域と学校が連携・協働する仕組みづくりを促進し、子どもたちを支えるだけでなく、地域住民の生涯学習・自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を図る。

地域学校協働本部

■令和6年度実施予定
16市町 163本部



学校

関係者による協議会の設置（目標、活動方針や取組内容等の共有）

地域学校協働活動推進員 （地域コーディネーター）

- 退職教職員、PTA経験者など
地域と学校の現状をよく理解している人

（活動の企画、地域・
学校との連絡・調整）

地域ボランティア

参画

幅広い 地域住民等

保護者

社会教育
関係団体

民間教育
事業者

文化・
スポーツ
団体

企業・
経済団体

地域の
青少年・
成人・
高齢者

労働関係
機関・
団体

連携・協働

地域学校協働活動

【活動の例】

- 学びによるまちづくり
 - ・地域資源を活用した
地域ブランドづくり学習
 - ・地域防災マップ作成等
- 地域人材育成
 - ・地域課題解決型学習
 - ・地域人材による
キャリア教育等
- 地域行事への参加
 - ・地域・学校協働防災訓練
 - ・地域の伝統行事への参画等
- ボランティア・体験活動
 - ・地域の高齢者施設での
ボランティア学習
 - ・地域の商店街での
職場体験活動等
- 学校支援活動
 - ・学習支援
 - ・部活動支援
 - ・校内環境整備
 - ・学校行事支援
 - ・子どもの安全確保、
見守り等
- 学校周辺環境整備
 - ・地域学校協働清掃活動
 - ・花壇整備等
- 郷土学習
 - ・郷土史調査学習
 - ・地域の自然環境、
フィールドワーク

地域に出かけていく活動の創出

校長

地域連携 担当者

- 学校側の窓口

教員



地域資源を
生かした
学校の
教育活動

子ども

地域における連携・協働の場の提供

期待される効果

子どもにとって

⇒ 専門的な知識や技能を持った地域住民等とのふれあいを通じて、学びや体験活動が充実するとともに、地域の人々と顔見知りになり、地域の担い手としての自覚が高まる。また、多様な経験を積むことで、学習意欲が喚起され、自ら課題を解決しようとする資質や能力が育まれる。

学校にとって

⇒ 地域住民等の理解と協力を得て、地域資源を生かした授業づくりが進められる。また、学校支援ボランティアが組織化されると、教員の異動に関わらず、持続可能な学校支援体制が担保される。子どもの教育を保護者や地域住民等とともに担うことで、ひいては教員の負担軽減につながり、子どもと向き合う時間が増える。

地域にとって

⇒ 地域住民等が自らの経験や知識を子どもの教育に生かすことで、生きがいや自己実現の機会や場がつけられる。地域の子どもの顔見知りになり、ひいては、地域住民同士も顔と名前が一致する関係が進む。学校を舞台に地域の緩やかなネットワークが形成され、新たな地域コミュニティがつけられる。